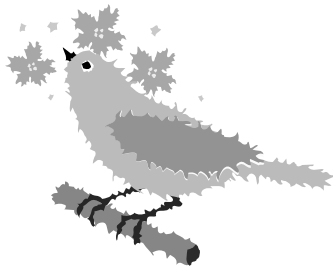


企業会計

〔質疑〕下水道事業会計の収益的支出に過年度損益修正損として過年度分の減価償却費が計上されているが、どのような理由で計上が必要となったのか。

〔答弁〕平成26年度から企業会計の基準見直しがあるため、平成25年度に固定資産の評価、補助事業で取得した償却資産の見直しを行った際に、過年度分に減価償却をしていなかった物件が見つかったことから、その金額を過年度分減価償却費として計上したものである。



◎第20号議案・平成26年度白石市一般会計予算

教育民生所管

〔質疑〕臨時福祉給付金と子育て世帯臨時特例給付金は消費税が8%に増額となることから国から手当てされるものだと思う。これは申請主義ということになるが、漏れなく申請していただくためにどのような手順をとるのか。

〔答弁〕臨時福祉給付金については申請主義ということなので、市民に漏れなく周知する必要があるため、まず市の広報しろいし5月号、6月号での記事掲載、全戸配布のチラシを予定している。さらに市のホームページを活用して市民に周知していきたい。

また、子育て世帯臨時特例給付金については、今年1月の段階で児童手当を受給している世帯が原則対象となるため、毎年6月に行っている児童手当の現況届等の個別郵送の際に申請書を配布したいと考えている。

PRについては、ホームページでの案内、全戸配布のチラシ等を配布していきたい。

〔質疑〕合併処理浄化槽設置補助金、白石市住宅用太陽光発電設置補助金の申請は年間のぐらいいり、増加傾向にあるのか。

〔答弁〕合併処理浄化槽は平成24年度実績で38基、平成25年度の現在までの実績は34基で横ばい状態で推移している。太陽光発電は、平成24年度実績で32件、平成25年度の現在までの実績は48件で、年々増加している。

〔質疑〕新年度から小学校全児童を対象に学力調査を行うとのことだが、科目はなぜ国語と算数の2教科なのか。

〔答弁〕国語、算数は全学年において基本となる教科である。基本的なところをしっかりと身につけさせたいために国語・算数の2教科としている。

〔質疑〕文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業補助金の内容はどのようなものなのか。

〔答弁〕文化庁の補助事業であり、自治体の実施団体にはなれないため、実行委員会を組織し、文化遺産活用推進事業を行うものであり、文化遺産ボランティア養成事業や地域の文化遺産普及啓発事業では文化講演会、企画展などを行うものである。

〔質疑〕現在市内でどのくらいの方が、生活扶助を受けているのか。

〔答弁〕平成26年1月末現在で202世帯であり、受給者は252人となっている。

〔質疑〕生活保護就労支援員、生活保護面接相談員に関連し、就労支援に至ったケースは何件あったのか。また、面接相談は何件くらいあったのか。

〔答弁〕就労支援の平成24年度実績は32名に対し239回の就労支援を行っており、数名程度が市内の企業等に就職し、現在も就労されているという状況である。面接相談の平成24年度実績は99件であり、平成25年度1月末の実績として

70件ほど面接を行っている。

〔質疑〕子ども、心身障害児医療費助成事業の予算が昨年度より減額となっているが、その理由は何なのか。

〔答弁〕今回大きく減額となったのは子ども医療費関係だが、これは平成25年度に小学生の外来を対象としたことでその分を見込んで増額したが、件数とその1件当たりの助成額が当初見込みと比較すると下がっている状況だったために減額となっている。

総務財政所管

〔質疑〕平成26年度からの新事業である台湾新竹市との交流はどのようなものなのか。

〔答弁〕昨年設立された新竹白石親交会が今年の6月ごろに、市民団を募集する事業に対し補助をするもので、人数は現在40名を見込んでいる。補助の概要としては1人当たり3万円程度の補助と考えている。